

2018年度（平成30年度）アジア大気汚染研究センター（ACAP） 一般公開開催報告

2018（平成30）年8月9日（木）に、毎年恒例の一般公開を開催しました。

今年度は“実験でジッカン！地球のチカラ！”をテーマに、小学校4年生以上の児童36名（付き添いの方を含めて62名）にご来場いただきました。

参加者は、最初に座学として、ACAPの活動やPM2.5などの大気汚染について学習しました。また今年度は、「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals：SDGs）を例に国際協力についても学びました。

座学の後は、調査や実験で使用している装置（PM2.5サンプラー、pH計、雨量計）や器具（ろ過器）を見学し、その後に、実際に土や炭酸カルシウム、pH試験紙を用いた実験を通して、酸性雨が緩衝や風化を経て中和される地球の力を実感しました。

その他、今年度は、新潟県環境保全事業団の呼びかけにより、「COOL CHOICE」*1に賛同登録頂いた参加者が61名、また「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」*2にご協力頂いた参加者が28名あり、地球温暖化防止やリサイクルの重要性について理解を深めて頂きました。

*1: 環境大臣を長とする『クール・チョイス推進チーム』を軸に実施されている国民運動。2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようという取組。

*2: 東京2020組織委員会が実施している国民参加型プロジェクトで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の約5,000個の金・銀・銅メダルを全国各地から集めた小型家電から回収したリサイクル金属で作るプロジェクト。



ACAPの活動について学習しました。



大気汚染について学習しました。



国際協力について学習しました。



記念写真を撮りました。



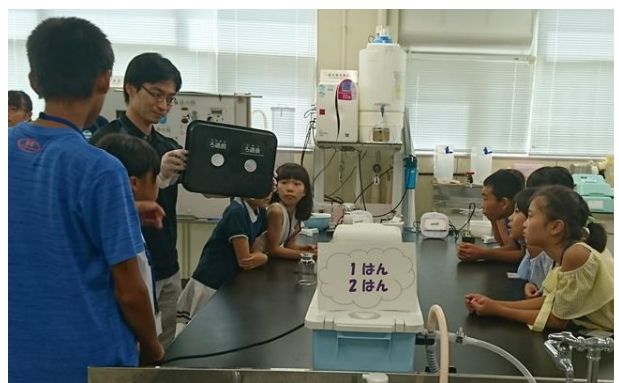
PM2.5の大きさや、国内外の大気汚染の状況について考えました。



線香の煙をPM2.5と見立てて、水（雨）で空気がきれいになるか実験をしました。



線香の煙が水で洗い流されるかどうかを確かめるため、いざ実験室へ！



煙を通過した水をろ過器でろ過するとフィルターに色がつきました。



煙を通過した水をpH計で測定すると、水のpHが弱酸性に変化していました。



雨量計で測定される1mmの雨量がどのくらいの水量になるか考えました。





弱酸性の水に土や炭酸カルシウムを混ぜてろ過すると、水のpHが中和されました。



最後に参加証が授与されました。



ご参加いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。私たちの一般公開が環境問題を考える良いきっかけとなれば幸いです。

来年も夏休みの同時期に開催を予定しておりますので、次回またお会いできますことを、ACAP スタッフ一同心よりお待ちしております。